



事業活動	
1	<p>EUPATI Toolbox 翻訳版の利活用法を改善する協働など</p> <ul style="list-style-type: none">• EUPATIとの協働<ul style="list-style-type: none">• 未翻訳コンテンツの翻訳要否判断および翻訳作業、out-of-dateのコンテンツの特定と削除・更新• 「AMED/医師会事業」との協働<ul style="list-style-type: none">• 医薬品開発に関するスライドのホームページ掲載• 各種有用情報サイトの集約的案内のホームページ掲載• EUPATI Toolbox翻訳版では網羅できない日本の薬事・医療制度等に関する情報整理と関係団体との協働<ul style="list-style-type: none">• PMDA等との協働活動の企画提案と推進
2	<p>患者・市民参画の普及啓発を推進する情報発信</p> <ul style="list-style-type: none">• 会員向け対話会：四半期に1回(例:3月、6月、9月、12月)/会員対象の無料イベントの開催• 「日本におけるPPI活動を知ろう」セミナー開催 (4月、7月、10月、1月)/一般参加者有料イベント(患者さん無料、会員割引あり)• “つながる”イベント(患者さん、患者団体、企業などのニーズを掘り起こし、充実した、実効性のある「つながる」活動について意見交換の場をつくるイベント)の企画:「何について」、「誰と」など現状のニーズ把握後、年度内にイベントを開催を目指す
3	<p>日本に適したLay Summaryのモデルドキュメント(案)作成</p> <ul style="list-style-type: none">• モデルドキュメントのドラフト作成ワーキンググループを設置し、欧州のGLSP要件を精査の上、日本の患者さんのニーズと実態に即したモデルドキュメント(案)を作成すると共に、国内での導入、活用法の検討(規制当局、患者団体などステークホルダーとの連携を含む)を提案する
4	<p>新しい医療技術や医薬品の開発に関するトレーニングプログラムに関する調査・企画・連携</p> <ul style="list-style-type: none">• EUPATI Open Classroomに関する実態調査と国内での活用法の見極め• 他各種団体におけるトレーニングプログラムに関する検討状況の把握と構築ニーズの特定<ul style="list-style-type: none">• 連絡会議などの定期開催により、各種団体における進捗状況を把握するとともに、疾患特異的でない、全般的、網羅的な患者・市民トレーニングプログラムのニーズを特定する• 患者向け教育プログラムの立案、連携に関する検討• PPI JAPANが主導、主催すべきトレーニングプログラムのスコープを特定し、実行計画案を策定